

平成24年度(2012年度)京都市立芸術大学音楽学部学生募集要項概要

I 一般選抜

- 1 募集人員 音楽学科 63名
- | | | |
|------------|---|-----|
| 作曲専攻, 指揮専攻 | 計 | 4名 |
| ピアノ専攻 | | 14名 |
| 弦楽専攻 | | 14名 |
| 管・打楽専攻 | | 14名 |
| 声楽専攻 | | 14名 |
| 音楽学専攻 | | 3名 |

※ 音楽学専攻の3名は社会人特別選抜の募集人員を含みます。

2 出願資格

平成24年度(2012年度)大学入試センター試験を受験していること。

※ 各種学校(外国人学校等)の修了生(修了見込みの方を含む。)で入学資格認定を希望する者は、9月16日(金)までに本学教務学生支援室に所定の書類を提出してください。

※ 本学を志願する者のうち、大学入試センター試験において「代筆解答」を希望する者は、センター試験出願以前のできるだけ早い時期(遅くとも9月16日(金)まで)に本学教務学生支援室に申し出てください。

3 身体に障害のある入学志願者との事前相談について

本学に入学を志願する者で、身体に障害(視力障害・聴覚障害・肢体不自由・その他)がある者は、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合がありますので、出願前にあらかじめ申し出てください。詳細は、学生募集要項(細目)をご覧ください。

4 大学入試センター試験について

大学入試センター試験のうち、受験しなければならない教科・科目は次のとおりです。

前年度(平成23年度)の成績を利用することはできません。

- (1) 作曲専攻, 指揮専攻, ピアノ専攻, 弦楽専攻, 管・打楽専攻, 声楽専攻

ア 国語	200点
イ 外国語(「英語〔リスニングを含む。〕」, 「ドイツ語」, 「フランス語」)から1科目を選択	200点

- (2) 音楽学専攻

ア 国語	200点
イ 外国語(「英語〔リスニングを含む。〕」, 「ドイツ語」, 「フランス語」, 「中国語」, 「韓国語」)から1科目を選択	200点
ウ 地理歴史(「世界史B」, 「日本史B」, 「地理B」), 公民(「現代社会」, 「倫理」, 「政治・経済」, 「倫理, 政治・経済」), 数学(「数学I」, 「数学I・数学A」, 「数学II」, 「数学II・数学B」)から1教科1科目を選択	200点〔素点100点〕

* 外国語のうち英語を選択受験した場合の配点は、筆記(200点満点)とリスニング(50点満点)の合計得点を200点満点に換算します。(なお、リスニングテストを受験しなかった場合は失格となります。)

ただし、リスニングテスト免除者については、筆記試験の成績を換算せずに利用します。

* 地理歴史, 公民での2科目受験者については、第1解答科目の得点を採用します。

* 最終合否判定にかかる、大学入試センター試験と本学が行う個別試験(第一次試験(専攻), 第二次試験(音楽通論・聴音書取等))の得点配分は、次のとおりです。

[作曲専攻, 指揮専攻, ピアノ専攻, 弦楽専攻, 管・打楽専攻, 声楽専攻]
 第一次試験 (900点), 第二次試験 (400点), 大学入試センター試験 (400点)
 [音楽学専攻]
 第一次試験 (900点), 第二次試験 (400点), 大学入試センター試験 (600点)

5 本学が行う個別試験(第一次試験・第二次試験)について

(1) 試験実施日 3月12日(月), 13日(火), 14日(水), 15日(木), 17日(土)

		作曲	指揮	ピアノ	声楽	弦楽	管打楽	音楽学
第一次試験	3月12日(月)	●		●			●	●
	3月13日(火)	●		●			●	●
	3月14日(水)	●	●		●	●		
	3月15日(木)	●	●		●	●		
	3月16日(金)	第一次試験合格者発表						
第二次試験	3月17日(土)	第一次試験合格者のみ第二次試験を実施						

(2) 第一次試験は、次のとおりです。

ア 作曲専攻

(ア) 和声法

A ソプラノ課題：与えられたソプラノに和声をつけ、4声体とすること。

B バス課題：与えられたバスに和声をつけ、4声体とすること。

(A, Bとも記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。) 試験時間各2時間30分

(イ) 二声対位法

与えられた全音符の定旋律に、対旋律をつくる。試験時間3時間

対旋律は、2分音符、4分音符、8分音符と移勢(シンコペーション)を含む、いわゆる自由(華麗)対旋律によるものとする。解答は、次の1~6の6通りが必要である。

1. 定旋律をバスに置き、対旋律をソプラノに作る。
2. 定旋律をバスに置き、対旋律をアルトに作る。
3. 定旋律をバスに置き、対旋律をテノールに作る。
4. 定旋律をソプラノに置き、対旋律をアルトに作る。
5. 定旋律をソプラノに置き、対旋律をテノールに作る。
6. 定旋律をソプラノに置き、対旋律をバスに作る。

なお、定旋律は、ソプラノとバスにおいて、適宜移調してもよい。

(記譜はa又はbのいずれかを選択する。a：ソプラノ、アルト、テノール、バス記号による。ト音記号は用いない。b：ト音記号とヘ音記号の大譜表による。実施例(aによる記譜)は別記(5ページ)のとおり。)

(ウ) 作曲

与えられた素材により器楽曲を作曲すること。試験時間4時間30分

(エ) 作品提出

自作品を1曲以上、試験当日に提出すること。(コピー提出可。提出された作品は返却しない。)

(オ) 面接

イ 指揮専攻

(ア) 指定された管弦楽曲を指揮する。(演奏はピアノによるものとする。)

(イ) 当日提示する楽曲による総譜視奏(スコアリーディング)

(ウ) 既に修得しているピアノ以外の楽器(弦楽器, 管打楽器, ハープのうちのいずれか1つ)若しくは声楽を演奏すること。その場合、楽器は各自持参すること。ただし、コントラバスについては、楽器を持参できない場合は、本学で用意するので、楽器を持参するか否かを願書に記入すること。マリimbaについては、本学で用意する楽器を使用すること。なお、全て無伴奏とし、演奏曲目を願書に明記すること。

(エ) 和声法：与えられたソプラノとバスに和声をつけ、4声体とすること。(記譜はト音記号とヘ音記号の大譜表による。) 試験時間3時間

(オ) 面接

ウ ピアノ専攻	課題曲の演奏
エ 弦楽専攻	課題曲の演奏
オ 管・打楽専攻	課題曲の演奏
カ 声楽専攻	課題曲及び自由曲の演奏
キ 音楽学専攻	英語, 小論文, 面接

※課題曲については、学生募集要項（細目）で発表します。

(3) 第二次試験の科目は、次のとおりです。

ア 作曲専攻, 指揮専攻, 弦楽専攻, 管・打楽専攻, 音楽学専攻

- (ア) 音楽通論
- (イ) 聴音書取 (旋律聴音・和声聴音)
- (ウ) 新曲視唱
- (エ) 副科ピアノ演奏

イ ピアノ専攻

- (ア) 音楽通論
- (イ) 聴音書取 (旋律聴音・和声聴音)
- (ウ) 新曲視唱
- (エ) ピアノ新曲視奏

ウ 声楽専攻

- (ア) 音楽通論
- (イ) 聴音書取 (旋律聴音・和声聴音)
- (ウ) 新曲視唱, コールユーブンゲン視唱 (全訳書第1巻より当日1曲指定)
- (エ) 副科ピアノ演奏

(4) 副科ピアノの課題曲については、次のとおりとします。

ア 音階：次の調性の中から同一調子記号による長調と短調を当日指定する。

速度は♩ = 76 M. M. 以上。

ハ長調 ト長調 ニ長調 ヘ長調 変ロ長調 変ホ長調
イ短調 ホ短調 ロ短調 ニ短調 ト短調 ハ短調

[注] ハノン第39番による。長調の音階は繰り返し演奏し、終止形をつけて終わる。

短調は、和声的及び旋律的短音階の両方を一度ずつ続けて演奏し、終止形をつけて終わる。

イ (A) J. S. Bach : 平均律ピアノ曲集 第2巻より 前奏曲とフーガ 第7番 変ホ長調

BWV 876

(B) J. S. Bach : 2声のインヴェンションBWV 772~786より1曲又はシンフォニア
(3声のインヴェンション) BWV 787~801より1曲を自由選択。
ただし、インヴェンション第10番ト長調, シンフォニア第5番変ホ長調,
シンフォニア第6番ホ長調を除く。

(C) B. Bartók : ミクロコスモス 第4巻より第98番 Thumbs under(親指を下へ)

[注] ※ 作曲及び指揮専攻志願者は、上記アは必ず、イは(A)(B)の中から1つを選択し、演奏すること。

※ 弦楽, 管・打楽, 声楽及び音楽学専攻志願者は、上記アは必ず、イは(A)(B)(C)の中から1つを選択し、演奏すること。

※ すべて暗譜で演奏すること。(反復はしない。)

II 社会人特別選抜（音楽学専攻のみの募集です）

1 募集人員 音楽学科 音楽学専攻 若干名

※ 社会人特別選抜の募集人員は、一般選抜の音楽学専攻の募集人員3名に含まれます。

2 出願資格

次のいずれかに該当する者で、平成24年4月1日までに満23歳に達し、社会人（就職の有無は問わない。）の経験を4年（*）以上有する者

（*）学校の通学期間は、社会人の経験期間に含めません。（定時制・夜間・通信制の学校を除く。）

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者、及び平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者、及び平成24年3月修了見込みの者
- (3) 高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者、及び平成24年3月31日までにこれに該当する見込みの者

ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者、及び平成24年3月31日までに修了見込みの者、又はこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程又は相当する課程を有するものとして認定又は指定した在外教育施設の当該課程を修了した者、及び平成24年3月31日までに修了見込みの者

ウ 文部科学大臣の指定した者

エ 大学入学資格検定規程(昭和26年文部省令第13号)により文部科学大臣が行う大学入学資格検定に合格した者、及び平成24年3月31日までに合格見込みの者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則(平成17年文部科学省令第1号)により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者、及び平成24年3月31日までに合格見込みの者

カ 上記ア～オ以外で、本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者

※ 各種学校(外国人学校等)の修了生(修了見込みの者を含む。)で入学資格認定を希望する者は、平成24年1月6日(金)までに本学教務学生支援室に所定の書類を提出してください。

3 大学入試センター試験について

大学入試センター試験の受験を免除します。

4 本学が行う個別試験(第一次試験・第二次試験)について

一般選抜に同じ

III 学生募集要項

1 学生募集要項の細目[専攻実技の課題曲等]について

11月1日(火) 午前10時に発表交付の予定。

2 学生募集要項の請求方法

- (1) 大学のホームページからの直接請求(9月1日より)

大学のホームページから直接資料請求ができます。

詳しくは、京都市立芸術大学ホームページ(<http://www.kcua.ac.jp/>)をご覧ください。

- (2) テレメール(24時間コンピュータ応答受付)による請求受付

① 下記のいずれかの方法で  テレメールにアクセスしてください。

●自動音声応答電話の場合 IP電話 050-8601-0101

※IP電話への通話料金は、一般電話回線からは日本全国どこからでも3分毎に約11円です。

●携帯・PCのインターネットの場合 <http://telemail.jp> (iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 共通アドレス)

※携帯電話でQRコードを読み取り、アクセスした場合は資料請求番号の入力は不要です。

- ② 請求を希望する資料請求番号（6桁）をプッシュまたは入力してください。

資 料 名	資料請求番号	送 料
大学概要	5 6 4 7 7 2	2 4 0 円
音楽学部学生募集要項	5 8 4 7 6 2	2 0 0 円
音楽学部学生募集要項+大学概要	5 4 4 7 6 2	3 9 0 円
2 3 年度入試問題（音楽学部）	5 8 4 7 9 2	1 4 0 円



- ③ あとはガイダンスに従って登録してください。

*受付から2, 3日程で送付されます。ただし, 募集要項は, 発送開始日(11月1日)までの請求は予約受付となり, 発送開始日になりましたら一斉に郵送します。

*送料の支払いは, 届けられた資料に同封されている支払方法に従ってください。

- (3) 郵便局での請求受付(10月から)

郵便局(普通局, 特定局)に設置されている「国公立大学・短期大学及び通信教育課程, 大学募集要項(願書)請求申込書」(郵便局用願書請求カタログ)に必要な事項を記入の上, 送料と払込手数料120円を添えて, 最寄りの郵便局の窓口で申込んで下さい。受付から1週間程度で送付されます。

なお, 請求申込書は高等学校で入手できる場合もあります。

(2)(3)の請求方法についてのお問合せは

テレメールカスタマーセンター TEL 050-8601-0102 (9:30~18:00) まで

IV 音楽学部オープンスクール

京都市立芸術大学では, 音楽学部への進学を希望される方に, 学部内容の情報を提供することを目的として, 10月15日(土), 10月16日(日)の2日間オープンスクールを開催します。

(詳細は, オープンスクールのパンフレットをご覧ください。)

[別記] 作曲専攻の第一次試験の(イ)二声対位法の実施例は次のとおりです。

定旋律

実施例

京都市立芸術大学 事務局教務学生支援室(音楽担当)

〒610-1197 京都市西京区大枝沓掛町13-6

TEL 075-334-2222